

◆墜落の危険性

普天間飛行場所属機による事故 **107回** (平均で約 2.4 回/年)

(件数は本土復帰から 2016 年 1 月末までを集計)

最近の主な普天間飛行場所属機の事故(2016年1月末現在)

2014年 6月17日	MV-22オスプレイが通常飛行訓練の海上飛行中にスタティックウィック(ペンサイズの薄い金属製の小さな部品)が落下
8月21日	AH-1Wヘリが訓練を終え普天間飛行場に帰還する際に、燃料キャップを紛失
9月18日	AH-1Wヘリが通常飛行訓練中に、ウイングボルト(ちょうねじ)とモーリングングが機体から落下
2015年 1月15日	AH-1Wヘリが出砂島訓練空域の海域南西付近で訓練飛行中に、ミサイルランチャーなどを含む計208キロの装備品が落下
3月12日	MV-22オスプレイが中部訓練区域で消火活動をしていたところ、平らのアルミ製の部品が落下
10月28日	CH-53E型ヘリが訓練飛行中に金属製部品(約85グラム)を遺失
2016年 1月29日	KC-130空中給油機が飛行中に除氷ブーツであるゴム片を遺失

◆地デジ受信障害

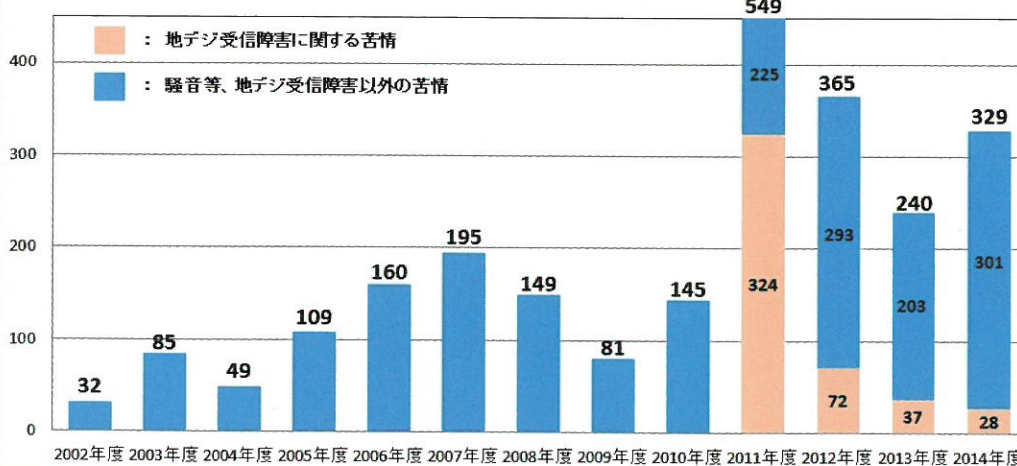
地デジ受信障害に関する苦情

2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度 (1月末現在)
324件	72件	37件	28件	13件

米軍機が住宅地上空を通過すると、地デジ受信障害が発生するといった声が市内全域から寄せられており、その対策を国に求めたところ、沖縄防衛局の調査により認定された野嵩・普天間・新城の一部区域については、平成23年度に防衛省の補助金を活用し市が対策を実施しました。しかしながら、対策が行われた区域以外からも同様な声が寄せられていることから、引き続き、米軍機が起因する地デジ受信障害の解消に向け取り組んでおります。

基地被害110番

基地被害110番苦情件数



宜野湾市では昼夜を問わず基地から発生する騒音等の苦情について、職員の勤務時間外にも対応できるよう、留守番電話専用回線である「基地被害 110 番」を設置しております。市へ寄せられた声は市長まで目を通し、翌日までに米軍と沖縄防衛局へ届け、市民生活へ配慮するよう申し入れております。また、特に騒音が激化した際などは適宜、米軍および沖縄防衛局等へ抗議・要請を行っております。

宜野湾市では、夜間・休日の騒音苦情窓口として基地被害110番を設置し、留守番電話にて24時間苦情を受け付けております。

宜野湾市 基地被害 110 番 ☎ **893-4400**